

## 東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区赤ちゃんの笑顔づくり応援事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
区民が安心して子どもを産み育てられる次世代育成支援のまちづくり事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を通じて親子が心を通わせ、親子の絆が深まる。また、子どもには夢を与え、保護者には子育ての喜びを感じられるようになる。</li> <li>・子育てや教育を支援する東区のイメージが高まる。</li> </ul>	①絵本受領率	81.8%	85.8%	81.6%
		②絵本を受領した人のうち、読み聞かせに参加した人の率	29.1%	25.3%	/
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	東区内の全ての乳児とその保護者を対象に実施しており、個人情報に関わる事務が多いため、行政が行うべき事業である。	○	保健センターや地域ボランティア等と連携して、絵本配付や読み聞かせなどで普及啓発活動を実施している。	△	絵本の配付や読み聞かせをするとともに、赤ちゃんとのふれあい方などのアドバイスもするなど、東区が子育てや教育を応援するまちづくりに取り組んでいるイメージを、区内外へ広くPRできている。
○	場所や対象者への案内などで事業実施に関する役割分担ができている。 また、BCG予防接種で親子が集まる機会に効率的に実施されている。	○	場所や対象者への案内など役割分担を行い、効率的に事業を実施することができている。また、前年度BCG接種に来られなかった親子へ郵送交付することで、絵本に触れる機会を確保することができた。 しかし新型コロナウイルス感染症防止の観点から、BCG接種の日程変更や読み聞かせが中止となり、絵本受領率は昨年度に比べて低下した。		
⑤自立発展性	総合評価				
△	配付する絵本と場所を行政が提供、読み聞かせに関しては地域ボランティアが主導となることにより自立発展できる可能性がある。	○			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	読み聞かせや赤ちゃんとのふれあい方などのアドバイスは、親子が心を通わせながら愛情をもって子育てするのに必要なものである。コロナ禍が続く現状を踏まえて、絵本の配付方法やPR手法などを工夫し、親子が絵本に触れる機会の創出を検討する。 読み聞かせの場において参加しやすい雰囲気づくりを行うことと、東図書館やボランティアと協力しながら受領者への声掛けを行うことで、絵本受領者の読み聞かせ参加率の向上を図る。				